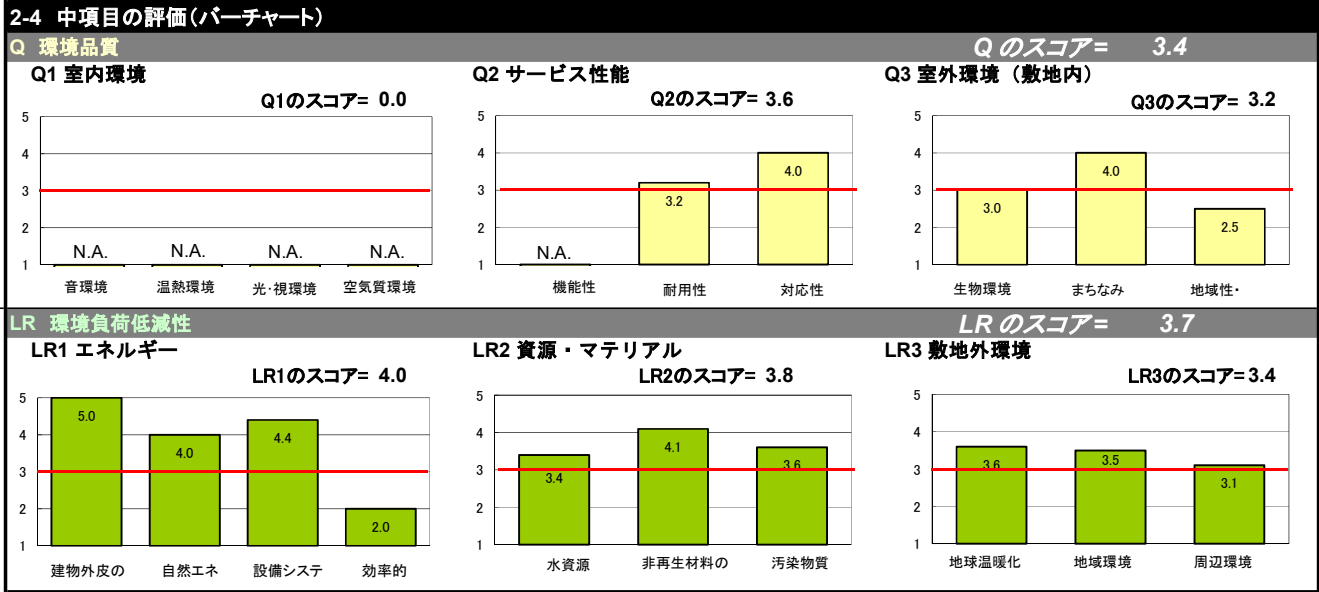
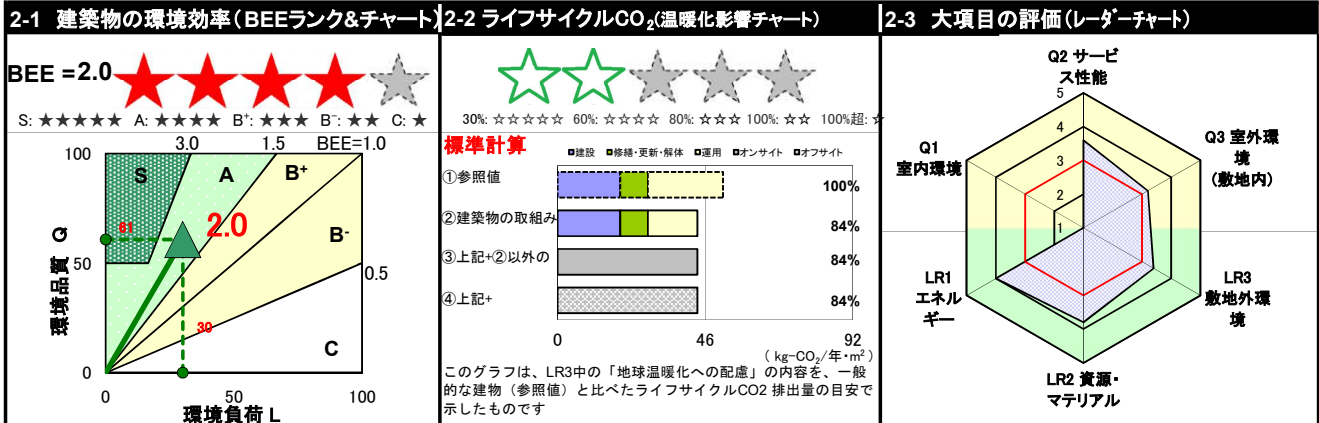


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	板橋トラックターミナル 新3・4・7号棟	階数	地上4F
建設地	東京都板橋区	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	- 人
地域区分	6地域	年間使用時間	- 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年4月 予定	評価の実施日	2025年2月3日
敷地面積	22,603 m ²	作成者	-
建築面積	17,381 m ²	確認日	2025年2月3日
延床面積	23,897 m ²	確認者	-



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
東京都板橋区に計画されたトラックターミナルである。 省エネに配慮された計画としており、CO2削減に寄与された計画としている。		-
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・評価対象外	・耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	・地域の自生種や都市適応性のある樹種などを採用し生物環境の保全に配慮している。 ・周辺のまちなみや景観に配慮した計画となっている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・断熱性能の高い建材を採用し、LED照明等の導入により省エネに配慮した計画としている。	・節水器具を使用し、水資源の保護に配慮している。 ・リサイクル材やユニット部材の採用により非再生資源の使用量削減に配慮している。	・燃焼機器の採用を避け、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される